

専門研修のご案内【3月】

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。Zoomによるライブ配信、集合形式で実施しますので、お気軽にご参加ください。

	研修名	日時	講師	定員
①	【Zoom】 福祉職員のための記録の書き方研修	3/2（水） 10:00～12:00	保正友子氏 （日本福祉大学）	30名
②	【集合】 チーム力を高めるケースカンファレンス	3/4（金） 13:00～17:00	長沼葉月氏 （東京都立大学）	24名
③	【集合】 障がい者虐待防止研修 福祉職のダークサイドを考える	3/11（金） 10:00～12:30	結城俊哉氏 （立教大学）	30名

◆参加費◆ 無料

◆対象◆ 調布市内在住・在勤の福祉職員

◆場所◆ 調布市こころの健康支援センター本館2階活動室AB

◆申込◆ 申込フォームにて受付（<https://forms.gle/CZXVwYwyqEMuuxJk9>）

QRコードからも読み取れます📄



◆申込期間◆ 1/12（水）から申込開始 ①②は2/21（月）まで ③は3/2（水）まで



※定員になり次第、受付を終了いたします。申込多数の場合、事業所ごとの参加人数を制限させていただきますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】


調布市福祉人材育成センター（こころの健康支援センター内）（月～金 9:00～17:00）

TEL:042-452-8180 FAX:042-444-3376 メール:jinzai@ccsw.or.jp HP📄



<p>【Zoom によるオンライン形式】福祉職員のための記録の書き方研修</p>	<p>○講義 ○グループワーク ※事前課題あり</p>
<p>社会福祉援助の現場では、よりよい支援をしていくために記録の作成が不可欠です。簡潔でわかりやすい記録を作成することは、サービスの質の向上はもちろん、業務の効率化にもつながります。</p> <p>本研修では、医療ソーシャルワーカーとして相談業務に従事した経験があり、現在は日本福祉大学の教授としてソーシャルワーカーの成長を応援している保正友子先生にご講義いただきます。日ごろの自分の記録を見つめ直すとともに、社会福祉援助における記録の目的や意義、適切な記録を作成するためのポイントなど基本的な知識・技術の習得を目指します。「記録の書き方がわからない」「記録に時間がかかる」などでお悩みの方はぜひご参加ください。</p>	<p>保正友子氏 (日本福祉大学)</p>
<p>① 保正友子氏 プロフィール</p> <p>日本福祉大学社会福祉学部教授。主な研究テーマは「ソーシャルワーカーの成長過程」について。著書に『医療ソーシャルワーカーのストレスマネジメント～やりがいをもって仕事をするために～』（共著, 中央法規）『医療ソーシャルワーカーの成長への道のり～実践能力変容過程に関する質的研究』（単著, 相川書房）などがある。また、基礎研修テキストにおいて「実践研究のための記録」について執筆している。</p> <p>***** 今年の同研修受講生の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ●聞く、見るだけではなくグループワークもあり参加型で緊張しましたが、楽しめました。 ●記録は日常でよく書くので、学べたことは今後の力になると思います。 ●今回の ZOOM 研修は聞きやすくとってもよかったです。グループワークがあると実体験を通して学ぶことができ、良かったです。 	 

※WEB会議システム「ZOOM」を使用するオンライン開催となります。カメラ付パソコンもしくはタブレット端末からの参加をお願いします。参加方法に関しては、参加決定者に別途ご案内させていただきます。

<p>【集合】チーム力を高めるケースカンファレンス</p>	<p>○講義 ○グループワーク</p>
<p>② 利用者の生活を支えるためには、関係機関がチームで対応していくことが必要です。本研修では、複数の関係機関がうまく連携していくために、多機関・多職種によるチームアプローチの一つの手段である「ケースカンファレンス」について学びます。</p> <p>参加者の事例を取りあげながら、安心づくり安全探しアプローチ（AAA）を基盤としたカンファレンス・シートを活用し、安心して話し合え、相互理解や相互信頼を育めるような、チーム力を高めるカンファレンス方法について取りあげます。</p> <p>「もっと有意義なカンファレンスをしたい」、「関係機関で円滑な連携をしたい」、「よりよい支援に向けてどうしたらよいか悩んでいる」などの方におススメの研修です。</p>	<p>長沼葉月氏 (東京都立大学)</p>
	

長沼葉月氏 プロフィール

東京都立大学人文社会学部准教授。主な研究テーマはソーシャルワーク論、精神保健学、児童・家族ケースワーク。著書に『チーム力を高める他機関協働ケースカンファレンス』（共著,瀬谷出版）、『高齢者虐待防止のための家族支援』（共著,誠信書房）、『ソーシャルワーカーのソダチ』（共著,生活書院）などがある。

昨年長沼葉月先生の研修『連携について考える』の受講生の感想

●多職種の方とグループワークをすることで、実際の現場で多職種との連携に活かせると思いました。

●今まさに会議の進め方に迷いがあったので、とても勉強になりました。



※お申込みの方の中から各グループで1名、事例を提出していただきます。事務局からご連絡いたします。

【集合】障がい者虐待防止研修 福祉職のダークサイドを考える

- 講義
- グループワーク
- 事例検討

日本では近年まで、「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術を受けさせるという国家的な人権侵害が行われてきました。2016年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起こり続けています。

本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、援助職（ケアの担い手）による虐待問題と優生思想について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など様々な否定的感情にさらされる福祉職のこころの闇（ダークサイド）から虐待や差別を捉える研修です。特に福祉職員が「こころの健康」を保ちながら働き続けるうえで役立つ内容となっています。

結城俊哉氏
(立教大学)



③

結城俊哉氏 プロフィール

立教大学コミュニティ福祉学部教授。主な研究テーマは障害福祉学、ノーマライゼーション、福祉文化論。東日本震災以後の被災地におけるコミュニティのリジリエンスとケアの方法について基盤研究や、障害者の自己表現活動としてのアール・ブリュットなどの研究に取り組む。著書に『ケアのフォークロア 対人援助の基本原則と展開方法を考える』（高菅出版）、『共に生きるための障害福祉学入門』（編著,大月書店）、『生活理解の方法-食卓から社会福祉援助実践への展開-』（ドメス出版）などがある。

昨年同研修受講生の感想

●ダークサイドというタイトルにひかれて参加しました。まずは自分のダークサイドから出発し、そうならないための具体的なアドバイスを得られたことが大きな学びとなりました。

●緊張状態が続くような重い空気ではなく、考え込んでしまう内容の研修も視点を切り離して受ける事が出来ました。